

# 仕事と生活の調和政策研究経費(継続) 22年度予算案 14,865千円

- 目的:**・仕事と生活の調和に係る実態や課題等を明らかにする  
 ・施策の企画・立案に活かす  
 ・国民の関心を高める

## 概要

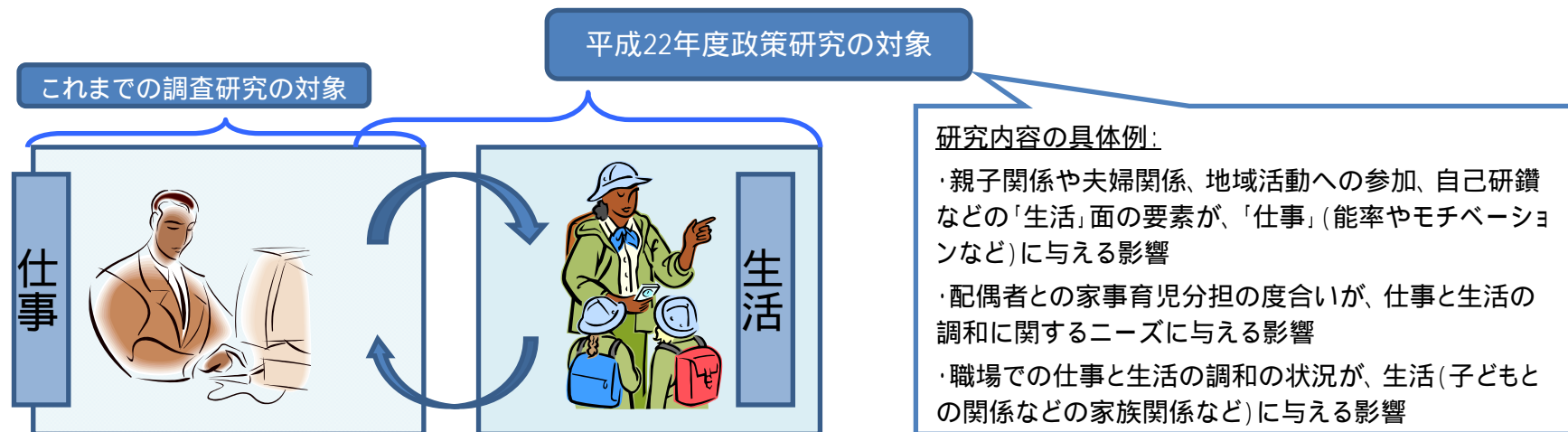
これまでの調査研究  
 職場の意識、制度、企業向けの支援策についてのニーズ等「仕事(ワーク)」に焦点を当てた研究が中心

### 問題点

個人の「生活(ライフ)」上の特性が「仕事」面に与える影響や、職場での仕事と生活の調和の状況が「生活」に与える影響についての実態は、十分に把握されていない。

### 平成22年度の政策研究

「生活」に焦点を当て、個人の「生活」上の特性が仕事と生活の調和についての希望や「仕事」面に与える影響、職場での仕事と生活の調和に向けた取組が「生活」に与える影響などを明らかにする。  
 (平成22年度は調査企画までを実施し、平成23年度に調査実施及び結果分析を行う予定。)



# 仕事と生活の調和に関する先進的事例収集経費(継続) 22年度予算案 8,976千円

## 目的: 企業とそこで働く者の取組を後押しする。

・経営者・管理職の理解が進まないために、制度があっても実効性がないという指摘があり、理解の深化を図るための材料が必要

## 概要: 仕事と介護の両立や「働き方改革」など新たな視点による事例を収集する。

・新たな視点

仕事と介護の両立を支援する企業の取組事例

(例)トヨタ自動車(介護休職、深夜労働免除、勤務時間の短縮措置など)

効率的な働き方を目指した「働き方改革」についての事例

(例)ユニ・チャーム・・・

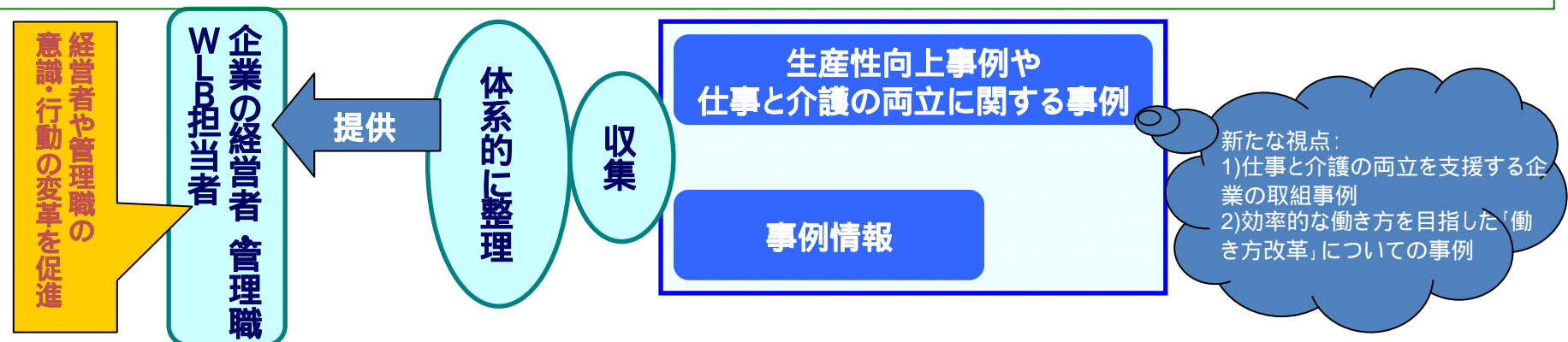
(SAPS 経営によるタイムマネジメント Schedule, Action, Performance, Schedule

(優先順位の高い課題に時間と行動を集中させる「時間の無駄取り」の経営手法))

## 関係機関等で既に収集されている事例情報を整理する。

、 で收拾した情報を体系的に整理し、企業の経営者・管理職や仕事と生活の調和担当者などを中心に広く提供。

(仕事と生活の調和ポータルサイトにデータベースとして掲載するほか、企業のWLB担当者向けメルマガのコンテンツとして活用)



## 仕事と生活の調和推進企業ネットワーク構築経費(継続) 22年度予算案 2,383千円

**目的:** 政策の立案に役立てるため、企業のWLB担当者から、その時々企業の政策に関するニーズや、仕事と生活の調和推進を図るうえでの問題点、課題についての情報を収集する。

仕事と生活の調和推進に取り組む各企業担当者のつながりを構築し、他企業の成功事例の紹介や、仕事と生活の調和推進の意義を裏付けるデータ等の情報共有、有識者との意見交換を通じ、各企業における取組を促す。

**概要:** 企業のWLB担当者が集まる交流会を開催し、企業で仕事と生活の調和を進める上での障害や課題、政府への要望についての意見交換や、有識者を交えた仕事と生活の調和に関する意見や情報の交換を行う。(年6回開催、内3回は地方開催)

交流会に参加する企業(仕事と生活の調和推進ネットワーク)及びその他の仕事と生活の調和に関心のある企業に対して、メールマガジンを発行する。(年6回)

**効果:** 企業において仕事と生活の調和を推進する上での課題や障害を把握することにより、現場のニーズを反映。成功事例等の情報を共有することにより、各企業における取組が活性化。

